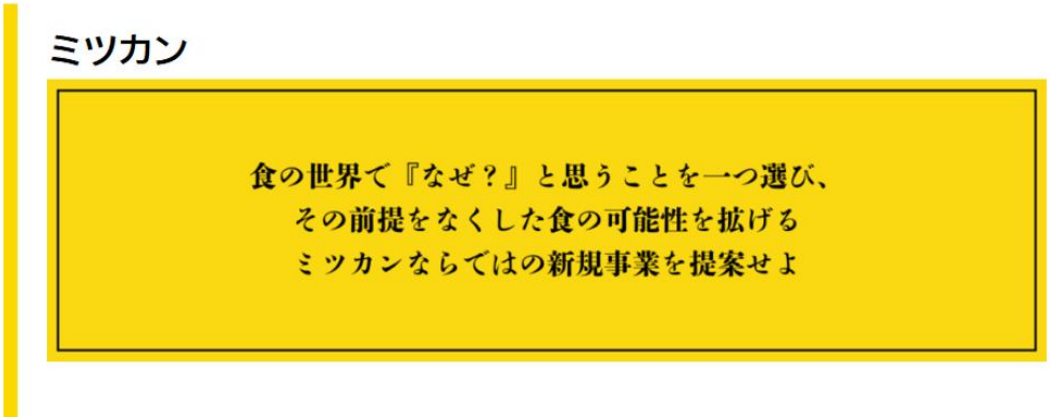
MIZKAN NEWS RELEASE　　2026 年 11 月 9 日

ともに未来を考え、ともに挑戦を応援する

Mizkan「第 13 回マイナビキャリア甲子園」に協賛



第 13 回大会での、ミツカンの企業テーマ

株式会社 Mizkan（本社：愛知県半田市、代表取締役社長兼 CEO：槇亮次、以下：ミツカン）は、株式会社マイナビが主催する高校生向けビジネスコンテスト「第 13 回マイナビキャリア甲子園」に協賛します。本大会は、企業が提示するテーマに高校生がチームで取り組み、ビジネスアイデアを競うもので、ミツカンの協賛は今回で 5 回目となります。

今年度は、「食の当たり前」を問い直す新規事業の提案を求める企業テーマを提示します。高校生ならではの自由な発想を大切にしながら、社員が高校生との対話を重ね、その挑戦を応援します。次世代とともに未来の可能性を考えるこの取り組みを、ミツカンが大切にするバリュー「ともに」の実践につなげていきます。

≪本大会でミツカンが行うこと≫

① テーマ提示・解説：独自の企業テーマと、その背景・考え方を高校生に伝える
② 選考・対話：書類・動画選考を行い、通過チームとの対話を通じて提案を磨く
③ 代表選出・決勝：準決勝でミツカン代表チームを選出し、決勝大会で総合優勝を目指す

■高校生とともに、未来の可能性を考える

本大会の特徴は、企業がテーマを提示し、高校生が出題企業の社員との対話を通じてアイデアを磨いていく点にあります。高校生にとっては企業のリアルな課題に向き合う機会となり、企業側にとっても、若い世代ならではの視点から自分たちの「当たり前」を見直す機会になります。

ミツカンは、こうした高校生との議論を重ねながら、次世代とともに未来の可能性を考えることに、この取り組みの意義を感じています。

マイナビキャリア甲子園は、高校生の挑戦を応援するだけでなく、
ともに未来を考え、学び合う取り組みです。
私自身、昨年は高校生の成長や発想力に何度も驚かされ、
「負けていられない」と感じました。互いに刺激を与え合いながら
成長していくことこそ、ミツカンが大切にする「ともに」だと考えています。
（人事本部長　有冨　菜穂子さん）



■高校生の挑戦を支える、それぞれの思い



●まさに「ともに」の実践の場

喜村 大地さん｜昨年度、優勝チーム「ノーサイド」の伴走に参加

「最初は、こちらから『こういう視点も考えてみたら』と投げかけることが多かったのですが、回を重ねるうちに、高校生の方から『こういうサンプルを作りたい』『こんなパッケージにしたい』と積極的な相談が増えていきました。
少し厳しい意見にも真正面から向き合い、最後は企業と高校生という立場を越えて、よりよい提案を目指す、一つのチームになっていました。高校生と社員がお互いの本気に動かされ、一緒に良いものをつくっていく。その過程は、まさにミツカンの『ともに』の実践だと感じました。」



● 「どうしたらできるか」を一緒に考える

西井 佳音さん｜今年度の担当・入社４年目

「高校生の自由な発想を、『どうしたらできるか』という視点で一緒に考えたいです。
そして、私自身も固定観念をほぐしながら、ミツカンの考え方と掛け合わせてアイデアを広げていけたらと思います。
また、この企画は高校生と一緒に考える過程そのものを通して、ミツカンの考え方や価値観を感じてもらえる機会だと思っています。彼らが社会人になった時に共感を持って思い出してもらえたら、それが将来の新しい関係やコラボレーションにつながるかもしれない。そこにも大きな価値を感じています。」



● 気軽に頼ってもらえる伴走者でありたい

中山 櫻子さん｜今年度の担当・入社３年目

「昨年度は、優勝チーム「ノーサイド」が提案した「サクまめ」の試作品づくりに途中から参加し、高校生の熱量や、対話を通じて発想を広げていく力に驚きました。そのアイデアをきっかけに、社内のさまざまな部門の協力を得られたことも印象に残っています。今年、伴走役のお話をいただいたときは、『貴重な経験ができそうで、面白そうだ』と感じ、『やります』と即答しました。
今年は最初から関われるので、どのようなアイデアに出会えるのか、また、対話を重ねながらそのアイデアがどう磨かれていくのかを楽しみにしています。私自身も新しい視点から刺激を受けながら、高校生の皆さんと年齢が近いことを生かし、気軽に頼ってもらえる存在として、チームの雰囲気づくりにも貢献したいです。」



● 大会後も続く、ミツカンならではの伴走

安倍 惇也さん｜株式会社マイナビ キャリア甲子園担当

「マイナビキャリア甲子園では、高校生が企業テーマに向き合い、社員との対話を通じて提案を磨く過程で、高校生には社会で必要な視点を、企業側には新しい気づきを得てもらうことを目指しています。その中でもミツカン様は、高校生と同じ目線で一緒に考え、提案をより良くするために本気で向き合っているのを感じます。伴走が手厚く、まさに『ともに』という言葉がぴったりの関わり方だと思います。
大会後も OB・OG が決勝大会を訪れて後輩を応援するというエピソードにも、築いた関係性が表れています。
また、高校生のアイデアを実際に形にした先駆的な事例があり、昨年も試作品に発展させています。
大会後も、提案の可能性を追い続けるところに、ミツカン様ならではの関わりの深さを感じています。」

■大会概要

「マイナビキャリア甲子園」は、企業が提示するテーマに対して高校生がチームで課題解決に挑むビジネスアイデアコンテストです。

2014 年の開始以来規模は拡大し、第 12 回大会（2025 年度大会）は過去最多となる全国 3,151 チーム・11,668 名が参加しました。

第 13 回となる本大会テーマは「UNLOCK」。企業ごとのテーマに対し、高校生が自由な発想でアイデアを磨き、書類・動画選考、準決勝を経て、2027 年 3 月の決勝では、選抜された 10 チームがプレゼンテーションを実施し、優勝チームが決定します。

URL：https://careerkoshien.mynavi.jp/